

## 平成29年度 学校応援団スタッフ研修実施状況

### 1. 学校応援団サポート講座「ねりまチャージ」

	日時	講座名	講師	会場	内容	参加者数	参加者の感想
1	7月14日 (金)	知っておきたい子どもの安全知識 ～子どもと関わる際に想定される応急処置～	荒川 雅子 (東京学芸大学 講師)	ココネリ 3階研修室1	子どもと関わる際に想定される軽度の怪我や病気の処置・予防について保健室の先生の視点から学びます。	20校 48名	擦り傷や突き指、捻挫の手当など、毎日関わる事から、熱中症の対応やアレルギーの種類など勉強になると思う内容でした。必要とされた時、AEDもお手伝いしたいと思います。 これからのひろばでの活動で万一のことがあったらどうしようかと不安でしたが、いく分不安が解消されました。
2	7月20日 (木)	元気いっぱい遊ぶ子どもを目指して ～アクティブ・チャイルド・プログラムの活用～	佐藤 善人 (東京学芸大学 準教授)	石神井公園 区民交流センター 大会議室	子どもが自ら考え行動出来る力を育む為に、指導者として子どもにどのように接し、声をかければよいか学びます。後半では、スポーツが苦手な子どもにも出来る鬼ごっこなどの遊びを体験します(アクティブチャイルドプログラム)。	11校 27名	子どもには手をかけないと...というのを再認識しました。校庭等で子どもと一緒に遊ぼう！と言われても今は遊べないから誰かを探して！とか言っていたのですが、一緒に遊ぶ事も大事なんだと痛感です。 楽しく学べました。自分の子ども時代に当たり前だったことがそうではないと気づかされました。後半の実技では思わず本気で遊んでしまいました。
3	9月14日 (木)	低学年から参加出来る科学実験遊び	山田 修平 (淑徳大学短期 大学部講師)	練馬区役所 19階1902会議 室	安全・安心・簡単に手に入る材料で出来る科学実験遊びを紹介します。低学年から参加出来、誰にでも実施出来るものばかり。実施する際のアドバイスも丁寧に行います。	15校 32名	○遊びのポイント、コーチングをティーチングの使い分けなど、とても勉強になりました。今までスタッフによって考えや対応の違いがあることが気になっていましたが、これで良いのだという目標のようなものがはっきり見えた気がします。 ○身の周りにあるもので、驚きや楽しみの深い「遊び」ができることに改めて気づかせていただきました。イベントをする上で子どもたちとの関わり方のヒントも講義いただき、大変参考になりました。
4	9月27日 (水)	子ども同士のトラブルへの関わり方	大熊 雅士 (カウンセリング 研修センター 学舎「ブレイブ」 室長)	練馬区役所 19階1903会議 室	子ども同士のトラブルがあったときのかかわり方について学ぶとともに、現代のいじめの構造や特徴について理解を深めます。	24校 69名	○その子、その子よっての受け止め方の違いにもっと理解をもって色々な子どもたちと接していきたいと思いました。 ○ひろばで色々な個性を持つ子どもとの関わりにおいてとても考えさせられました。子どもの心を理解するのはとても難しいことですが、感情を受け止めて心の交流をもつように心掛けていきたい。
5	10月12日 (木)	紙を使った遊び	新名 佐和子 (造形教室「放課 後図工室」主宰)	ココネリ 3階研修室1	紙を使った様々なコンテンツで遊びながら、子どもと接するときのコツやポイントについて考える。紙遊びの幅が広がるとともに、ワークショップを実施する際のコツやポイントについても学びます。	19校 40名	○子どもたちが大好きなシールを使っての紙遊び、とても良かったです。ただシールを貼るだけの作業ですが、色々物語を考えたりかわいいキャラクターを作ったりと空想豊かに楽しめます。雨の日など、時間がたっぷりある時にぜひ取り入れてみたいと思います。 ○安い材料で、子どもの発想で十分楽しむことが出来る。
6	10月31日 (火)	学校応援団の意義	山田 修平 (淑徳大学短期 大学部講師)	ココネリ 3階研修室1	学校応援団として、大切にしたい子どもの見守り方、関わり方について学びます。また、地域の大人として子どもを育てていく事について考えます。	13校 20名	○応援団の存在する意義が確認できた。スタッフの一員としての目標が見えた。 ○今の時代、他者の存在は子どもたちにとって本当に大切だと思います。学校を支えながら、中間領域の立場で子どもと接する応援団は重要です。とても参考になりました。子どもたちとの関係を深めて、これから子どもの居場所作りに頑張っていきたいと思います。

	日時	講座名	講師	会場	内容	参加者数	参加者の感想
7	11月10日 (金)	気になる子どもたちへの配慮 について	中山 哲志 (東京成徳大学 教授)	石神井庁舎 5階第1会議 室	発達障害を持つなど、少し気になる子どもたちにとって、どのような支援が本当に必要なかを学びます。	31校 74名	○応援団を続けてきて、キレル子どもに対しての関わりで苦労をする時があります。子どもとのコミュニケーションは積極的にとるように心掛けてはいますが、とても参考になるお話でした。 ○トラブルがあった際は、日付・ケンカ等記録をしておくこと。言葉少なくとも読み取り、また聞いているよというメッセージを発信。放課後、応援団のスタッフとしてタイミングよく声掛けをしてもっと褒めてあげようと思います。
8	12月7日 (木)	子どもの気持ちを理解する ～新聞紙の構造体を例に～	欽矢 悦朗 (東京学芸大学 教授)	ココネリ 3階研修室1	新聞紙を使った大きな工作を通して子どもの気持ちを理解します。	11校 23名	○新聞紙でここまでの感動が得られるなんて思いませんでした。身近なあまりお金のかからないもので子どもたちを喜ばせてあげたいと思いました。 ○共同作業、体も使い、頭も使い、楽しい時間を過ごせました。ちょっとした言葉や声掛け、子どもたちへの関わりにもわが子にも改めて勉強できるところがたくさんありました。
全8講座 全てが「子どもパートナー認証講座」の対象							延べ144校・333名 1回あたり参加者平均約42名

## 2. その他の講座

	日程	講座名	講師	会場	内容	参加者数	参加者の感想
1	平成29年 9月27日 (水)	練馬区危機管理研修 ～区立施設における不審者 対応について～	練馬警察署 生活安全課 防犯係長	練馬区役所 地下多目的会 議室	危機管理室危機管理課の主催により、区職員のみならず委託事業者も含めて広く対象とした研修を実施していることから、受講の呼びかけを図りました。施設に不審者が侵入してきた時の対処法と予防法について学びました。	26校 30名	
2	平成30年 2月8日 (木) 【予定】	タイトル未定 (学校図書館に係る講座)	区立図書館 図書館職員	ココネリ 3階研修室1	区立図書館の業務のうち、選書や除籍などの実務や、ブックトークのノウハウなどを学びます。 受講対象はねりまチャージと同じです。ただし、講座内容は「図書館開放指導員」の初心者の方を想定した説明となる予定です。		